

株式会社小林太一印刷所

業種	製造業	事業所所在地	石川県金沢市	資本金	10,000千円
				従業員数	11名

 	被承継者（左）		
	小林 繁	66歳	※承継時
	承継者（右）		
	小林 大祐	41歳	※承継時

事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2015年	9月	その他の親族（甥）	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
既存客の印刷受注営業		・既存商品・サービスの売上高の拡大	機械の老朽化 売上の低迷

事業承継を実行するまで			
きっかけは？		承継計画の立案	
承継実行の	1年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	
①売上の低迷 ②経営方針の相違	①経営方針と行動について ②今後の会社への関わり方		金融機関の融資について
	関係者との調整		承継者の承継に対する不安
	特になし		経営の永続

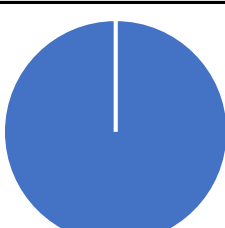
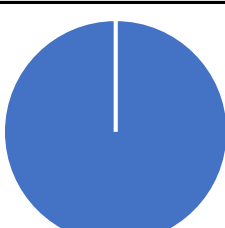
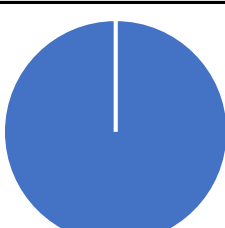
これに一番苦労した！	
経営者の考えと従業員の考えの温度差がある。 全てにおいて老朽化。今後の事業展開。	

事業承継について相談したこと		
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容	
税理士・税理士法人	売上目標の数値設定	
いつから相談？		
承継実行の		1年前
相談のきっかけ		以前から取引やつきあいあり

新たな取組の標題

自動化による生産性向上と最新付加価値印刷「AR」を使用した受注拡大

新たな取組の内容	その他の新たな事業活動
<ul style="list-style-type: none"> ●印刷業界は情報伝達産業としてスマートフォンやタブレット端末の普及が進み、用紙のみの印刷だけではなく動画やWEBを取り入れた最新印刷付加価値の提案が求められてきている。 ●そのため、これまで運用していた既存印刷機よりも自動化が図られ、品質が安定する印刷機を導入した。これにより、作業時間の短縮による生産性の向上はもちろん、無駄紙減少によるコスト削減、印刷スキルの減少により印刷工の育成時間の短縮が実現できた。 ●今後は、印刷紙面への最新付加価値「AR」印刷＋動画＋WEBを組み込んだ印刷の提案を行い、より多くの受注に対応できるとともに積極的に新たな販路を開拓して顧客獲得に取組むことで売上増加を目指す。 	
	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳				
地域顧客へのサービス提供と地元の雇用	<table border="1"> <tr> <td>■ 設備費</td> <td>経費の主な使い道</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  </td> <td>設備費（印刷機導入費）</td> </tr> </table>	■ 設備費	経費の主な使い道		設備費（印刷機導入費）
■ 設備費	経費の主な使い道				
	設備費（印刷機導入費）				

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施

制度内容の説明と事業計画書の確認	
------------------	--

今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	①印刷機 SPICA-26P…本稼働させ自動化による生産性向上 ②最新印刷付加価値「AR」を活用した提案受注の拡大
売上高 16 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
特になし	事業継承の意思決定を行い、事業計画を作成すると自社の強みや弱みが見えてきます。